

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標4_都市基盤・防災・防犯・消防】

施策 4-2_道路の整備

基本計画		事業番号	細事業名称
4-02-01	幹線道路の整備	08045_01	上部東西線改良事業(街路)
4-02-01	幹線道路の整備	08060_01	道路整備事業負担金
4-02-01	幹線道路の整備	08062_01	都市計画街路事業負担金
4-02-01	幹線道路の整備	08077_01	上部東西線改良事業(地方道)
4-02-01	幹線道路の整備	08299_01	宇高西筋線改良事業(街路)
4-02-02	生活道路の充実	08014_01	橋りょう長寿命化事業
4-02-02	生活道路の充実	08100_01	市道敷地内未登記処理事業
4-02-02	生活道路の充実	08120_01	道路整備事業
4-02-02	生活道路の充実	08216_01	道路緊急舗装等事業
4-02-02	生活道路の充実	08279_01	新居浜東港線側道整備事業
4-02-02	生活道路の充実	08294_01	別子山地区市道等管理事業
4-02-03	道路交通安全対策の推進	08015_01	交通安全施設整備事業
4-02-03	道路交通安全対策の推進	08298_01	原地庄内線改良事業
4-02-03	道路交通安全対策の推進	08300_01	自転車通行空間整備事業

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	08045_01		
事業名(行目名称)		上部東西線改良事業(街路)	細事業名	上部東西線改良事業(街路)			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	幹線道路の整備	担当課	道路課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	113,466人			
	手段(どうやって)	地元説明会等を通じ円滑な事業実施への協力を求め、用地買収及び道路改良工事を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	本路線は上部地区を東西に結ぶ、国道11号のバイパス機能を持った路線であるとともに、県総合博物館や広瀬公園、山根公園を直線的に結ぶ路線である。国道11号の交通混雑の緩和と交通安全の確保を図り、市民の生活や観光・産業を支える交通ネットワークの基盤となる道路を整備する。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)		令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		69,935	181,600	257,200	192,891		
財源	県・国支出金	38,080	97,020	138,600	105,993		
	地方債	28,100	71,400	102,000	78,000		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	3,755	13,180	16,600	8,898		
<ul style="list-style-type: none"> ○役務費 1,400千円 ○委託料 3,800千円 ○工事請負費 8,400千円 ○公有財産購入費 14,000千円 ○補償補填及び賠償金 154,000千円 							
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
事業進捗率(%) = 累積事業費 / 総事業費		目標値	31.7	41.0	47	53.0	64.2
		実績	26	35.0	49	53.3	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
用地買収の交渉に難航している箇所があり、工事の発注に支障となるため、引き続き交渉を行い、早期の用地取得を目指す。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
早期開通に向け、予算を拡大する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
道路用地の取得及び物件補償について、ほぼ当初の計画通り契約することができた。用地を取得できた箇所から、道路改良工事を実施した。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	08060_01			
事業名(行目名称)		県営事業負担金(道路)	細事業名	道路整備事業負担金				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備				
	基本計画	幹線道路の整備	担当課	都市計画課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	県道利用者		数値	113,466人			
	手段(どうやって)	愛媛県土木建設事業負担金条例に基づき、事業費の一部を市が負担する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	幹線道路網の整備(地域交流幹線道路、市街地への接続道路の整備)・地方拠点間を結ぶ県道の整備。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		9,848	4,935	8,225	7,813	○負担金補助及び交付金 4,935千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	9,848	4,935	8,225	7,813			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
市内の県道の規格整備率(%)			目標値	86.5	86.5	86.5	86.5	86.5
			実績	86.4	86.4	86.4	86.4	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
課題等はないが、今後も県営事業の推進を強く要望していく。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
愛媛県の事業予定費の増により拡大する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
市内の幹線道路網整備において必要な県営事業の負担金であるため、引き続き事業を継続する。								

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	08062_01			
事業名(行目名称)		県営事業負担金(街路)	細事業名	都市計画街路事業負担金				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備				
	基本計画	幹線道路の整備	担当課	都市計画課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	県道利用者	数値	113,466人				
	手段(どうやって)	愛媛県土木建設事業負担金条例に基づき、事業費の一部を市が負担する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	幹線道路網の整備(地域交流幹線道路、市街地への接続道路、市内幹線道路の整備)・渋滞の緩和を図り、道路渋滞による損失時間を削減する。・歩行者や自転車が安心かつ快適に通行できる道路空間の創出。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		50,355	23,552	25,188	25,156	○負担金補助及び交付金 23,552千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	46,300	20,500	22,500	22,600			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	4,055	3,052	2,688	2,556			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
市内の県道の規格整備率(%)			目標値	86.5	86.5	86.5	86.5	86.5
			実績	86.4	86.4	86.4	86.4	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
課題等は特にないが、今後も県営事業の推進を強く要望していく。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
愛媛県の事業予定額の増額により拡大する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
市内の幹線道路網整備において必要な県営事業の負担金であるため、引き続き事業を継続する。								

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	08077_01			
事業名(行目名称)		上部東西線改良事業(地方道)	細事業名	上部東西線改良事業(地方道)				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備				
	基本計画	幹線道路の整備	担当課	道路課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	113,466人				
	手段(どうやって)	地元説明会等を通じ円滑な事業実施への協力を求め、用地買収及び道路改良工事を行う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	本路線は上部地区を東西に結ぶ国道11号のバイパス機能を持った路線であるとともに、県総合博物館や広瀬公園、山根公園を直線的に結ぶ路線である。国道11号の交通混雑の緩和と交通安全の確保を図り、市民生活や観光・産業を支える交通ネットワークの基盤となる道路を整備する。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース ○役務費 450千円 ○委託料 3,500千円 ○工事請負費 13,680千円 ○公有財産購入費 5,700千円 ○補償補填及び賠償金 95,700千円		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		100,313	119,030	151,909	70,356			
財源	県・国支出金	55,172	63,294	81,377	38,671			
	地方債	40,600	46,600	59,900	28,500			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	4,541	9,136	10,632	3,185			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
事業進捗率(%) = 累積事業費 / 総事業費			目標値	33.8	48.7	55.2	61.7	72
			実績	30.5	41.8	55.3	62.2	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
用地買収の協議に不測の日数を要しており、工事ができない箇所があるため、引き続き協議を進め、早期契約・工事発注に努めたい。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
地権者との協議により、来年度用地買収及び物件補償契約を行うことを予定しているが、比較的規模の大きい案件であるため、来年度は事業費を拡大する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
道路用地の取得及び物件補償を行ったが、地権者との交渉が難航したため、若干当初の計画と差が生じている。道路用地が取得できた箇所から、道路改良工事を実施した。								

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	08299_01		
事業名(行目名称)		宇高西筋線改良事業(街路)	細事業名	宇高西筋線改良事業(街路)			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	幹線道路の整備	担当課	道路課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	113,466人			
	手段(どうやって)	地元説明会等を通じ円滑な事業実施への協力を求め、用地買収及び道路改良工事を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	都市計画道路「宇高西筋線」の安全な交通空間の確保を図るとともに、新居浜市における交通ネットワークの基盤となる道路を整備する。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		0	26,650	37,750	3,539	○役務費 750千円 ○委託料 10,000千円 ○公有財産購入費 8,900千円 ○補償補填及び賠償金 7,000千円	
財源	県・国支出金	0	14,245	20,350	1,630		
	地方債		10,400	14,900	1,200		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	2,005	2,500	709		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
事業進捗率(%) = 累積事業費 / 総事業費			目標値	3	4.5	6	16.3
			実績	0	0	6.4	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
用地買収交渉に先立つ税務署との協議に不測の日数を要し、事業の進捗が遅れていたが、準備が整ったため用地買収交渉を進め、事業の進捗を図る。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
地権者との協議により、来年度用地買収及び物件補償契約を行うことを予定しているが、比較的規模の大きい案件であるため、案業費を拡大する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
用地取得における物件補償について、調査業務委託を実施した。用地の取得及び物件補償について、関係機関との協議に不測の日数を要し、当初計画通り進めることができなかった。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	08014_01			
事業名(行目名称)		橋りょう長寿命化事業	細事業名 橋りょう長寿命化事業					
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策 道路の整備					
	基本計画	生活道路の充実	担当課 道路課					
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	橋梁		数値	353橋			
	手段(どうやって)	平成26年度に策定した路線の重要度や損傷の重大性を考慮した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に補修を実施する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	従来の事後的な修繕を見直し、予防的な修繕を行うことによって、補修費用のトータルコスト縮減及び橋梁の長寿命化を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		124,371	213,787	358,758	176,540	○委託料 71,800千円 ○工事請負費 141,987千円		
財源	県・国支出金	61,268	117,582	190,799	93,467			
	地方債	37,400	69,500	135,800	56,900			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	25,703	26,705	32,159	26,173			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
修繕実施橋梁数(橋)			目標値	5	24	19	19	18
			実績	5	17	10	10	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する					
各橋梁の補修費増が判明し補修計画の見直しが必要である。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
点検で判明した「機能に支障が生じる可能性のある橋梁」について、早期に措置を講ずる必要がある。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
橋梁の修繕速度と劣化速度が類似しており、今後の資材高騰や人材不足も注視しつつ、計画的に橋梁修繕を推進していく必要がある。								

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	08100_01		
事業名(行目名称)		市道敷地整理費	細事業名	市道敷地内未登記処理事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	生活道路の充実	担当課	道路課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	未登記敷地		数値	17,000筆		
	手段(どうやって)	地権者との協議調整、境界立会、関係機関法務局・地方局等との連絡調整を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	市道敷きにおける境界の確認や分筆登記等を行うことにより、市道敷地の権原を明らかにする。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		428	2,304	2,304	935	○役務費 4千円 ○委託料 2,300千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	428	2,304	2,304	935		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
未登記処理総筆数		目標値	896	920	920	920	930
		実績	900	905	911		—
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
例年同様、地権者との協議調整を行い、境界立会を実施している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
市道を適正に管理するために、引き続き市道敷きの境界・権限を明らかにし、確定させる。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)					

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	08120_01	
事業名(行目名称)		道路整備事業		細事業名 道路整備事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防		施策 道路の整備			
	基本計画	生活道路の充実		担当課 道路課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民			数値	112,017人	
	手段(どうやって)	舗装や側溝、ガードレール等の道路付属物などの修繕、街路樹の剪定や除草、道路の拡幅や隔切りを実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	市内の道路施設を常時良好な状態に保つとともに安全安心な道路環境の整備を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○旅費 350千円 ○需用費 20,918千円 ○役務費 1,050千円 ○委託料 68,450千円 ○工事請負費 41,550千円 ○原材料費 1,400千円 ○公有財産購入費 2,000千円 ○負担金補助及び交付金 282千円 ○補償補填及び賠償金 4,000千円	
経費		190,900	140,000	195,000	187,945		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
一般財源		190,900	140,000	195,000	187,945		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
道路施設補修要望(過去3年間)に対する実施率(%)			目標値	100	100	100	100
			実績	10.2	26.5	45.5	26.2
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
市内の道路施設の老朽化が進んでおり、緊急性があり、優先度の高い修繕箇所が増えている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
道路施設の老朽化が進んでいることから、計画的な修繕の実施が必要となっている。また、道路の改良要望についても、地元の協力が不可欠であり、今後、丁寧な事業推進を実施するため、継続的な予算確保が必要となっている。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
老朽化が進んだ道路施設については、計画的に修繕を実施することが出来た。街路樹、除草等の道路環境の向上についても計画的に取り組むことが出来たが、市民からの要望件数が増えており、今後も事業の進捗を図る必要がある。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	08216_01		
事業名(行目名称)		道路緊急舗装等事業	細事業名	道路緊急舗装等事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	生活道路の充実	担当課	道路課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	112,017人			
	手段(どうやって)	路面性状調査で抽出された修繕区間や市民要望を考慮し、補修の優先度の高い区間から舗装工事を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	道路路面の適切な維持管理を実施し、道路利用者の安全かつ快適な通行を確保する。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○工事請負費 100,000千円	
経費		98,721	100,000	100,000	96,848		
財源	県・国支出金	11,050	0	0	17,912		
	地方債	23,400	0	22,600	22,600		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	64,271	100,000	77,400	56,336		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
舗装補修箇所路線数		目標値	13	13	13	13	0
		実績	13	13	7	10	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する				
舗装の耐用年数を延ばすためには、舗装下の層の改良も必要となる。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
道路は時間と共に老朽化するものであり、道路利用者の安全な通行を確保するためには、一定の事業費の確保が必要である。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
市内各地に舗装の劣化箇所が存在するため、舗装修繕計画及び舗装要望に対応するには、今後も、更なる舗装工事の実施が必要となる。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	08279_01		
事業名(行目名称)		新居浜東港線側道整備事業	細事業名	新居浜東港線側道整備事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	生活道路の充実	担当課	道路課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	112,017人			
	手段(どうやって)	県道新居浜東港線の建設に併せて、市道の新設整備のため、用地買収を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	県道新居浜東港線の円滑な事業進捗と地元の道路環境の向上のために生活道路を整備する。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		59,853	2,700	2,700	813	○役務費 500千円 ○公有財産購入費 2,000千円 ○補償補填及び賠償金 200千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
一般財源		59,853	2,700	2,700	813		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
事業進捗率(%)(累積事業費/総事業費)		目標値	52.1	52.1	52.1	52.1	63.8
		実績	43.2	55.5	55.5	55.6	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
引き続き地権者と協議を行い、用地補償内容に理解が得られるよう事業を進める必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
愛媛県の事業進捗に併せて事業費を確保する必要がある。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
未買収箇所の契約ができたため、愛媛県の事業進捗に併せて事業の推進を図る必要がある。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	08294_01		
事業名(行目名称)		別子山地区市道等管理事業費	細事業名	別子山地区市道等管理事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	生活道路の充実	担当課	別子山支所			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	別子山地区内の市道及び林道		数値	17路線		
	手段(どうやって)	市道及び林道の除草を年2回を計画的に実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	別子山地区における市道及び林道の整備を図り、市民及び観光客などが円滑かつ安全な通行を確保する。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○委託料 3,302千円	
経費		3,302	3,302	3,302	3,302		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	3,302	3,302	3,302	3,302		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
実施路線数		目標値	18	18	17	17	17
		実績	18	22	17	17	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>市道及び林道の除草を年2回(6月、9月)に行った。別子山地区全部の市道、林道の草刈りは行うことは出来なかったが、草刈りを行ったことにより、地元民や登山者から草の繁茂による苦情がなかった。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>別子山地区全部の市道、林道の草刈りを行うことはできないが、草刈りを行わなかった場合、草の繁茂による苦情が出るのが想定されるため、引き続き事業を行いたい。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>別子山地区すべての市道・林道の草刈りはできないが、草刈りをする事で市民及び観光客が安全な通行ができ、草の繁茂による苦情がなかった。引き続き事業を実施したい。</p>							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	08015_01	
事業名(行目名称)		交通安全施設整備事業	交通安全施設整備事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策			
	基本計画	道路交通安全対策の推進	担当課			
II 事務事業の実施概要						
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	113,466人		
	手段(どうやって)	交通安全施設(防護柵、道路照明等、反射鏡、標識及び路面表示等)の設置及び既存施設の更新、維持補修				
	目的(どんな状態にしたいのか)	市道及び生活道路の交通安全施設の整備を行うことで、交通安全の確保を図り、人に優しい交通環境の整備を行う。				
III 投入費用						
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース
			当初予算額	年度末予算額	決算額	
経費		19,998	17,835	17,835	17,817	○工事請負費 16,835千円 ○原材料費 1,000千円
財源	県・国支出金	0	0	0	0	
	地方債		0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	19,998	17,835	17,835	17,817	
IV 指標						
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度
(実施箇所数/要望箇所数)×100%		目標値	60	60	60	60
		実績	60	52	40	59
V 事中評価						
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する			高い
<p>新設要望も多く、点検や修繕等の維持管理が不十分になっている。</p>						
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持			
<p>安全安心な交通環境整備のため、引き続き継続して事業を実施していく必要がある。</p>						
VI 事後評価						
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
<p>交通安全施設の新設・補修等を整備を実施した。要望数も多いことから、順次が基本となるが、緊急性等も考慮し、事業を実施する必要がある。</p>						

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	08298_01	
事業名(行目名称)		原地庄内線改良事業		細事業名	原地庄内線改良事業		
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防		施策	道路の整備		
	基本計画	道路交通安全対策の推進		担当課	道路課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民			数値	113,466人	
	手段(どうやって)	2箇所の交差点において、右折レーンの増設や設置を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	当路線は愛媛県渋滞対策評議会において、主要渋滞対策検討箇所として指定されており、慢性的な交通渋滞が発生していることから渋滞の解消のために交差点改良を行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○工事請負費 67,400千円	
経費		16,600	67,400	67,400	50,604		
財源	県・国支出金	8,300	33,700	33,700	25,302		
	地方債	7,400	30,300	30,300	22,800		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	900	3,400	3,400	2,502		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
事業進捗率(%)=累積事業費/総事業費			目標値	50	70	70	100
			実績		14	70	74
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
事業費の内示額により、次年度も引き続き事業を実施していく必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
交通渋滞を解消し、安全性の確保と利便性の向上を図るため、継続して事業を実施していく必要がある。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
概ね計画通りに、道路改良工事が完了した。令和7年度完成に向け、事業を実施していく必要がある。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	08300_01			
事業名(行目名称)		自転車通行空間整備事業	細事業名	自転車通行空間整備事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備				
	基本計画	道路交通安全対策の推進	担当課	道路課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	113,466人				
	手段(どうやって)	「新居浜市自転車ネットワーク整備基本計画」に基づき、自転車通行帯のカラー化や路面標示による通行位置の明示などを行う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	安全で快適な自転車利用環境の創出を推進する。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費			6,000	6,000	4,020	○工事請負費 6,000千円		
財源	県・国支出金	0	3,300	3,300	2,211			
	地方債		2,400	2,400	1,600			
	その他		0	0	0			
	一般財源		300	300	209			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
自転車専用通行空間の整備延長(km)			目標値	36.3	36.9	37.2	37.2	37.7
			実績	36.3	36.9		37.3	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
安全で快適な自転車利用環境の整備のため、自転車通行帯のカラー化等による路面標示を継続して実施していく必要がある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
新居浜市自転車ネットワーク整備計画に基づき、引き続き事業を継続して整備をしていく必要がある。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
自転車通行帯のカラー化や、路面標示による通行位置の明示等を行い、安全で快適な自転車利用環境が確保できた。新居浜市自転車ネットワーク整備基本計画に基づき、継続して事業を実施していく必要がある。								

令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)				数値		
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者		最終評価責任者				
事後評価	作成担当者		最終評価責任者				